

## 1 教育目標

### (1) 本校の教育目標

知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい児童の育成

めざす児童

#### <笑顔いっぱい、未来を拓く子ども>

- 「かしこく」 よく考え、くふうする子  
(他者と協力しながら、課題を解決する子)
- 「やさしく」 明るく、すなおな子  
(思いやりがあり、他者とよりよく生きる子)
- 「たくましく」 じょうぶで、たくましい子  
(いのちを大切にし、健やかに生活する子)

### (2) 経営方針

- ・全教職員が、**チームとして協力**しながらめざす児童を育成し、保護者・地域から「信頼される学校」づくりに取り組む。
- ・児童、教職員ともに、**集団の中での一人一人のウェルビーイング**（良い状態であること）の向上を図る。

#### ア 確かな学力の育成・・・「かしこく」

- ・「わかる・できる・身につく」授業づくり
- ・言語活動を充実させた協働的な授業づくり
- ・個に応じた学びや支援の充実

#### イ 豊かな心の育成・・・「やさしく」

- ・笑顔で生活できる学校・学級づくりや心の居場所づくり
- ・自他の命、人権を大切にする心の教育推進
- ・豊かな感性を育む活動や体験の機会の充実

#### ウ 健やかな体の育成・・・「たくましく」

- ・運動に親しむ機会の充実
- ・家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の定着
- ・安全な生活を送るための指導の充実

#### ● 信頼される学校づくり・・・めざす児童育成のための基盤づくり

- ・教職員の資質・能力向上のための体制づくり
- ・学校・家庭・地域の連携・協働の推進
- ・安全で安心できる学校管理体制や環境の整備、相談活動の充実
- ・笑顔で子どもたちと向き合うための、教職員の働き方改革の推進

### (3) 本年度の重点努力目標

- ・学力の向上と人間関係力の向上に努め、笑顔いっぱいの子どもを育てる。
- ・教職員が教育活動に専念できるよう働き方改革を進めながら、信頼される学校づくりをめざす。

#### ア 確かな学力の育成…「かしこく」

- ・学習ルール（大南スタンダード）やスキルタイム、国語算数オリンピックを活用し、基礎基本の定着を図る。
- ・ペア、グループなど「かかわり」「対話」を生かした「協同解決型学習」を進め、思考力・表現力（説明する力）を向上させる。（「みんなで学ぶ みんなが伸びる」）
- ・「振り返り」や「まとめ」をする時間を設定し、「身につく」授業をめざす。
- ・ICT機器、学習者用PC、デジタル教材等を効果的に活用し、個に応じた指導・支援を充実させる。

#### イ 豊かな心の育成…「やさしく」

- ・「協同解決型学習」を重ね、共感的人間関係の構築につなげる。  
（「おいてきぼりをつくらない」、「困っているときは助ける」）
- ・「発見！かっこいいカード」を書くことで、自己肯定感や他を認め尊重する態度を育てる。
- ・心のアンケートや教育相談を活用し、児童の困り感やいじめに早期対応する。
- ・道徳科の授業、「親子道徳」、「いのちの授業」や人権集会、福祉教育、情報モラル教育等を通して、心の教育を推進する。
- ・異学年交流活動（縦割り清掃活動、ペア学年交流）や小中の連携・交流（小中合同あいさつ運動、ごみゼロ運動、相互参観・相互交流等）を通して、豊かな人間関係を築かせる。
- ・読書活動、芸術鑑賞会の実施等により豊かな感性を育む。

#### ウ 健やかな体の育成…「たくましく」

- ・体育の授業や体育的行事の工夫、リズムなわとび等、体を動かす楽しさや喜びを味わせる。
- ・家庭・地域と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」や「スマホ使用のルールづくり」を推進し、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ・避難訓練や危険予知トレーニング、着衣泳等を実施し、安全意識と実際に行動できる力を育てる。

#### ● 信頼される学校づくり…めざす児童育成のための基盤づくり

- ・校内現職教育や研究授業、研修を充実させ、信頼される教師であるための力量向上をめざす。
- ・学校運営協議会の充実や学校支援ボランティアの活用により、家庭や地域との連携・協働を図る。
- ・学校ウェブサイトを活用し、情報発信や学校の公開に努める。
- ・施設設備の安全管理点検や相談活動の充実により、子どもの安全管理と心の安定を図ることに努める。
- ・地域・家庭と連携した小中合同引き渡し訓練の実施等、災害時における児童の安全確保に備える。
- ・教職員が心身ともに健康で、笑顔で子どもたちと向き合うことをめざし、勤務時間の明確化、業務の精選や作業の効率化等の働き方改革を推進する。